

●「教える」とは、希望を語ること。「学ぶ」とは、誠実を胸に刻むこと。(ルイ・アラゴン)

# 連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1292 2024/06/20 (Thu)

発行 広島高校連絡会事務局

Email [renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp](mailto:renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp)

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

## 誰もが安心して、楽しく学べる学校に！

6月14日(金)夕方6時より、全教広島と広島県労連の呼びかけで「長時間労働の解消」や教職員の大幅増



などを求めて宣伝行動を行ないました。忙しい中現場から駆けつけて参加した教職員、全教のOBや県労連の組合員など25名が参加しました。30分ほどの短い時間の行動でしたが、チラシを約300枚配布し、「えがお署名」に35筆集まりました。

中本雄一全教広島書記長は、『中教審・審議のまとめ』は、先生を増やさない、持ち時間数の上限も設けない、『給特法』にも手を付けないなど、学校現場の願いに全く答えていない」と指摘しました。

広島市教組(全教)の藤中茂委員長は、「先生が長時間過密労働で疲れ切ったり、病気で休んだり、休んだ先生の代わりがいなかったりすれば、それは教育を受ける子どもたちの不利益につながっていきます。子どもたちの健やかな成長のためにも、先生が元気でイキイキと働ける条件をつくるのが大切です」と訴えました。

全国各地で声を上げ、その運動も広がり、小学校の35人学級が実現しました。

- 一人ひとりが大切にされる教育が進められるよう、どの学校、どの学級にも少人数学級に！
- お金の心配をしないでがっこうに通えるよう、
- 教育の無償化を！

これらみんなの願いをあつめて、1つ1つ実現させていきましょう！

軍拡予算よりも教育予算を引き上げて、全ての子どもたちの「教育への権利」が保障されるように、声を上げ、運動の輪を広げましょう！

(望月 照巳)

●文科予算と防衛予算の推移(各年度の当初予算額で作成)



### 長時間労働をなくすため 時間外手当の支払いを!

教職員の時間外勤務の平均は1か月で92時間34分。厚生労働省の過労死ライン(月80時間)を大きく超えています。6割近くが、休憩時間が全く取れていません。

教職員が人間らしく働き、子どもたちの教育にあたることのできるようになるために、給特法を改正して時間外勤務の対価を支払うしくみをつくり、教職員の数を増やすことが重要です。

#### ●校内での時間外勤務(1か月)

(全国の教職員2524人の2022年10月下旬の勤務実態から計算)

時間外勤務/月	過労死ライン(月80時間)
45時間未満	80時間以上 100時間未満
17.8%	29.3%
45時間以上 80時間未満	100時間以上
29.3%	36.1%

上限指針(月45時間)

(全教「教職員勤務実態調査2022」より)

◎ 今週の「六文銭」は、お休みをします。又、今週の本文担当は、村井でしたが、望月さんの原稿内容が、ホットなので今週号と差し替えます。従って、6.27 1293号担当が村井で7.4 1294号が本間さんの担当となります。